

---

# 財団セミナー報告書

## 2021-22年度



9月16日

---

ロータリー財団統括委員会



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

---

## 目次

- 1) プログラム
- 2) 卓話内容
- 3) 出欠リスト (クラブ)
- 4) 会計報告



## 1) プログラム

開催日 2021年9月11日(土)

会場 TKP ガーデンシティ千葉

司会進行 統括部門 時田 清次

12:30 登録開始

13:00 点鐘

ロータリー財団統括委員長 寺嶋 哲生

国歌斉唱

ロータリーソング斉唱

13:05 地区役員の紹介

13:10 ガバナー挨拶

ガバナー 梶原 等

13:20 ガバナーエレクト挨拶

ガバナーエレクト 小倉 澄夫

13:25 ARRFC 挨拶

第1地域 ARRFC2790 地区 PDG 橋岡 久太郎

13:30 今年度の方針について

ロータリー財団統括委員長 寺嶋 哲生

### 「ロータリー月間に向けてクラブ財団委員長の役割」

13:40 パネルディスカッション

財団資金管理・寄付推進委員長 平野 伸一

資金推進の成功例・補助金事業によるクラブ活性化の成功例

クラブ代表 4名

14:45 コーヒーブレイク

### 「ロータリー財団プログラムの説明」

15:00 地区補助金について

地区補助金プロジェクト委員長 堀内 正人

15:15 グローバル補助金について

グローバル補助金プロジェクト委員長 浅野 肇

15:30 奨学生奨学金について

奨学生・学友委員長 折田 紘幸

15:45 ポリオプラスについて

ポリオプラス委員長 松永 達人

16:00 平和フェロシップについて

ロータリー平和フェロシップ委員長 佐野 正子

16:15 質疑応答

16:25 諸事お知らせ

16:30 点鐘

## 2) 卓話内容

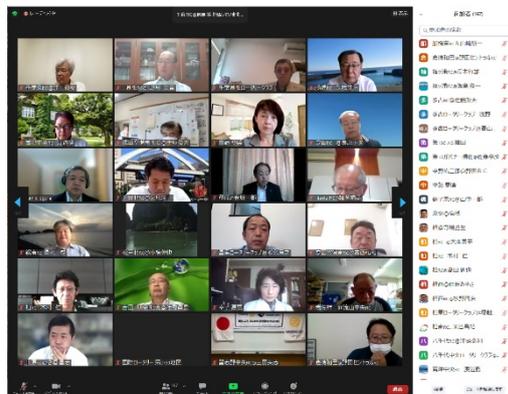
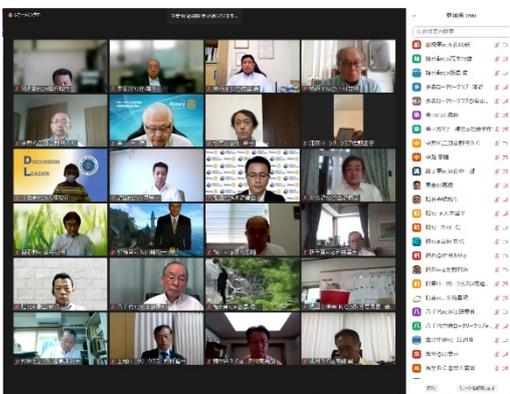
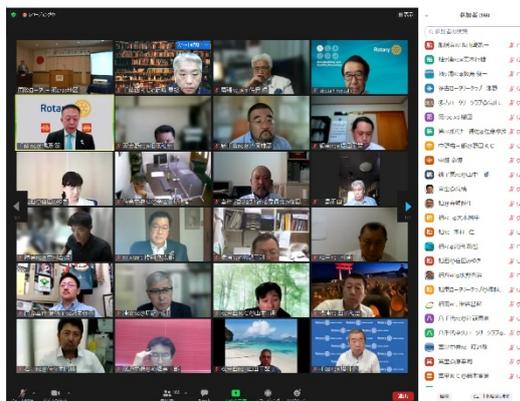
2021年9月11日(土) ロータリー財団セミナーを開催しました。



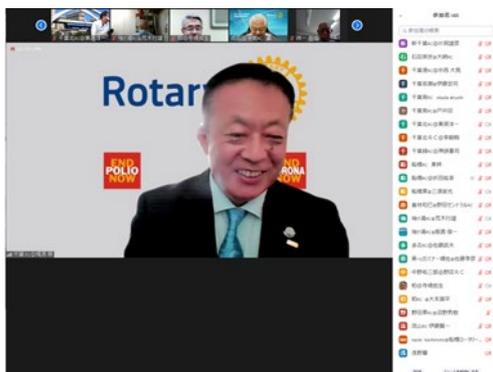
当初、TKP ガーデンシティ千葉と ZOOM のハイブリッド会議の予定でしたが

千葉県の緊急事態宣言のため、基本 ZOOM 参加とさせていただきます。

参加者は ZOOM 参加 170 名、会場参加 17 名の 187 名の盛況な会議となりました。



ロータリー財団セミナーの目的は、新たに就任されたクラブ会長・クラブ財団委員長の為



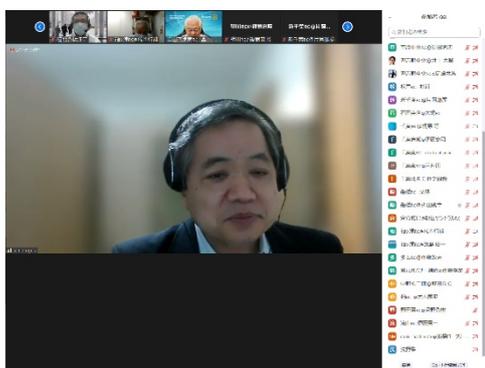
に「ロータリー財団の最新情報を伝えるとともに、財団の掲げる目的と目標に対する参加者の理解を深めることで、財団への支援を向上する。」ことです。

セミナーは式次第通り行われました。

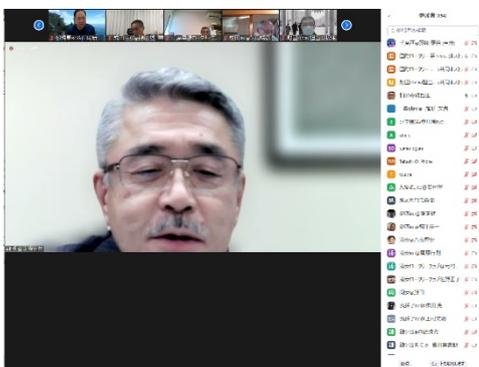
梶原ガバナーの挨拶ではグローバル奨学生の自分の体験を交え財団の必要性を話していただきました。

小倉ガバナーエレクトの挨拶ではロータリー財団委員会統括部門副委員長を1年間勤めて財団の奥深さを学んだとのお話をいただきました。

ARRFC、パストガバナーの橋岡様からは21-22年度の日本の目標を話していただき PHS の増加を推奨されました。



## 地区財団セミナー開催に当たって統括委員長 寺嶋哲生



1日当たり1.90米ドル以下で暮らす状態を、絶対的貧困と呼ぶそうです。

絶対的貧困状況にある人々は1990年には世界中で18億4100万人・世界人口の35%であったところが、2013年には7億6600万人・世界人口の11%にまで減少したとの事です。

しかし、コロナ・ウイルスによるパンデミックや100年に一度ともいわれるような自然災害

が頻発したことにより、この1年で新たに絶対的貧困状態に陥った人々は1億5000万人増加したとの報告があります。

地域紛争が起きたアフガニスタンに暮らす8歳の女の子・フレシタちゃんが、「パンが一切れある日もあるし、ない日もあるの。金属のかけらを拾って売るんだけど、それでやっと大きなパンが食べられるの」、そう泣きながら語る映像があります。

私達のくらす日本では絶対的貧困状態に陥った方々は極めて少ないものの、平均的な所得の半分に満たない水準の生活を余儀なくされる相対的貧困状態に陥る方々が増えております。

日本に住む人の相対的貧困率は15.4%、取り分け一人親世帯の相対的貧困率は48.1%に上

るとのデータがあります。

コロナ禍から既に1年半、お母さんたちは「明日子供に食べさせるものがない」「公共料金の引き落としができていない。明日止まってしまうのではないか」「スマホが明日で止まる。助けを求めることもできない」そんな心配を続ける余り、疲れ切り心身の病気になる人が増えている、そんな報道もされております。

国際ロータリー定款第4条に、ロータリーの目的は「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」と定められております。

RI 初代事務総長であるチェスリーペリーは、ロータリーの奉仕の理念を「Thoughtfulness of and helpfulness to others. 他を思いやり、他の助けになること」と表現しております。この奉仕の理念を実現するために、ロータリー財団の父アーチ・クランプが「Doing good in the world. 世界で良い事をしよう」と呼びかけて設立されたのが只今のロータリー財団です。

ロータリー財団は優先して解決すべき重点項目として、平和構築と紛争予防・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率向上・地域社会の経済発展・環境の7つの重点分野を掲げております。

私達がロータリー財団に行う寄付は世界中のロータリアンが世界で良い事を行うために使われ、世界中のロータリアンから集まった善意は皆様が良い事を行うために活用することができます。

そして「One profits most who serves best. 最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」、皆様の Take action は、活動を通じての友情を育み、ロータリーとロータリアンの信用を築き、感謝されることによって皆様の心が充足し、精神的・経済的な profits がもたらされるものと思います。

どうか、世界の紛争を解決し、地球環境を改善し、そして何より「今日食べる物のない子供達にパンを届けるために」、皆様の善意をお寄せください。

2790 地区ロータリー財団委員会は、皆様が充実したロータリー経験を送るために、精一杯のお手伝いを申し上げます。

今日のセミナーが、皆様にとって有益な時間となる事を願っております。

**ファンドレイジングについて 財団資金管理・寄付推進委員長 平野 伸一**



### ロータリー月間 (11月) に向けて クラブ財団委員長の役割

RI2790地区 2021-22年度 ロータリー財団統括委員会

副委員長 時田 清次



まず、ロータリー月間について、時田統括副委員長より説明させていただきます。

時田さんよろしくお願ひします。

ロータリー財団ハンドブックの P6 を開いてください。クラブロータリー財団委員会の役割を記載していません。

これは地区を成功に導くリーダーシップロータリー財団委員会編の責務になっています。

- 1) クラブのロータリー財団目標を立案しその目標を達成する。
- 2) クラブ会員にロータリー財団委員会の仕組みを理解してもらう。
- 3) クラブ会員にロータリーのプログラムに参加して

もらう。

4) ロータリー財団に対するクラブ全体の寄付目標を立案し、その目標を MYROTARY からアップする。  
年次寄付: 1 人当たり 150 ドル、年次寄付寄付ゼロクラブ 0 を達成する。

ポリオプラス寄付: 1 人当たり 30 ドル

5) 毎年少なくとも 2 回財団プログラムの説明の機会を設けてもらいたい。

そのうち 1 回は 11 月ロータリー月間に実施してもらう。

ロータリー財団委員会では卓話の申し込みを受け付けていますのでガバナー事務所  
経由で申し込みをお願いいたします。

6) クラブの会員にポールハリスソサエティーに加入していただく勧誘をお願いします。

P8の上から 13 行目にロータリー月間の記載があります。

1956 年に RI 理事会は毎年 11 月中旬に「ロータリー週間」を設けることを決め、この期間に中に財団を更に強化するようにクラブに奨励しました。

1982 年には管理委員会は財団週間をロータリー財団月間に改め毎年 11 月に遵奉すること決められました。

これは、ポールハリスの教えを尊重し従うこととなっています。

今年の11月はポールハリスの思いを思い起こし資金推進を奨励していただきたいと思います。

## 寄付推進（ファンドレイジング）について

国際ロータリー第2790地区 2021 - 22年度

財団資金管理・寄付推進委員会



## 国際ロータリー（RI）と ロータリー財団（TRF）



国際ロータリー（RI）  
ロータリーという組織の運営  
↓  
国際ロータリー（RI）  
↓  
管理運営は会費で賄う

21-22年会長  
シェカール・メーター氏  
・インド・

ロータリー財団（TRF）  
実践的な奉仕活動のための資金  
↓  
ロータリー財団（TRF）  
↓  
奉仕活動は寄付金で賄う

21-22年度管理委員長  
ジョンF.ジャーム氏  
・米国（テネシー州）・

ロータリー財団は世界中のクラブや会員が実際の奉仕活動をするための資金を集めて配分する組織です。国際ロータリー（RI）の双子の弟のような組織です。

## 国際ロータリー（RI）の最優先事項



- ・ポリオプラス
  - ・世界平和の構築
  - ・人道的支援
- 「7つの重点分野」
- 
- ・平和構築と紛争予防
  - ・疾病予防と治療
  - ・水と衛生
  - ・母子の健康
  - ・基本的教育と識字率向上
  - ・地域社会の経済発展
  - ・環境

## ロータリー財団（TRF）の優先事項



- ①**ポリオ根絶へ。**  
ポリオを根絶し先導的役割のロータリーの役割を強調する。
- ②**2025年までに恒久基金を20億2,500ドルへ。**  
年次基金とポリオプラスへの寄付を増やす。  
(そのために、包括的ファンドレイジング目標を4億1,000万ドルに定めた)
- ③**より大きなインパクトをもたらす。**  
ロータリーの補助金によってもたらされる測定可能なインパクトを向上させ、効果的にコミュニケーションする。



## なぜロータリー財団に寄付いただくのか



- ・通常の寄付  
→寄付団体への寄付（ユニセフ・赤十字等）
- ・ロータリーの寄付  
→ロータリー財団への寄付

(※) 英語ではContribution→「寄付」ではなく、ロータリー活動への「寄与」という意味合い

これをご覧の皆様はクラブ内で寄付のお願いをする立場にあると思いますが、そもそも、何故ロータリー財団に寄付をしなければならないのでしょうか。

ロータリーの寄付はユニセフや赤十字と言った他の団体に寄付するのではなく、我々が所属するロータリーの活動の支援への寄付になっているのが最大の特徴です。

ロータリー財団ハンドブックをご活用下さい。北村謙介さんをはじめとする20-21の財団委員会の皆様

## ロータリー財団ハンドブックをご活用下さい



(抜粋)

ロータリー財団はクラブの活動を支援する部門です。あなたのクラブを含めた多くのクラブが活用する**資金のプール**です。ロータリー財団の寄付はロータリーの活動資金の支援です。

いわば、**ロータリーの共済システム**と言えます。

## ロータリー財団を選ぶ理由



ロータリーへのご寄付の90.8%が、奉仕プロジェクトに直接生かされます。ロータリー財団は透明性を重視し、責任ある資金管理を行っているため、安心してご寄付いただけます。

が時間と労力をかけ作成いただきました。ここにわかりやすくまとまっています。寺嶋統括委員長のお言葉を引用させていただきます。

当委員会は、寄付推進のあらゆる側面(戦略的方向性、方針、ガイドラインの作成や推奨なども含む)について管理委員会を援助し、助言を提供するものとします。委員は寄付推進と財団への資金的支援を行います。

## コロナ渦における、ロータリー財団として



### 第4条 ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業(※)の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

→寄付は基本理念実現の1手段

(※) ここで言う「事業(Enterprise)」は「職業」奉仕ではなくロータリアンの活動全般を指す

リアルで会えない今こそ、寄付によってロータリーの目的が達成されると思いませんか？

それは、ロータリーの定款に「ロータリーの目的」があり、その中で「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を推奨し、これを育むことにある」とあります。

私たちロータリアンはロータリーの基本理念

である『奉仕の理念』Ideal of Serviceを実現するため、様々な奉仕プロジェクトを実践しております。ロータリー財団はロータリアンや他の個人、法人からの寄付金を財源として奉仕プロジェクトを財政的にサポートしています。すなわち、私たちの寄付はロータリーの基本理念実現のための、ひとつの手段になります。

### 寄付推進(ファンドレイジング)

#### ●21-22年度の地区目標について●



当地区の2021-22年度の目標になります。

～以下説明～

年次基金

会員一人あたり  
**150ドル**

ポリオプラス

会員一人あたり  
**30ドル**

**寄付推進（ファンドレンジング）**  
**●前年度の寄付分析結果●上位 1 1 クラブ●**

	クラブ名	年次基金 (個人平均)	会員数単位	年次基金計	ポリオ プラス	その他計	恒久基金計	合計
1	佐倉中央	362	23	8,330	690	-	-	9,020
2	習志野	336	31	10,408	1,914	-	-	12,322
3	柏西	317	58	18,389	6,360	-	-	24,749
4	船橋西	314	28	8,780	721	-	1,000	10,501
5	富里	313	33	10,330	1,554	-	-	11,883
6	船橋東	306	27	8,270	1,000	-	1,000	10,270
7	千菓	288	98	28,200	6,107	-	1,718	36,025
8	習志野中央	285	45	12,835	1,000	-	-	13,835
9	四街道	267	27	7,200	-	-	-	7,200
10	松戸西	267	27	7,200	-	-	-	7,200
11	柏南	246	39	9,585	1,523	3,481	-	14,589

昨年度上位 11 クラブになります。  
 ～以下説明～

**寄付推進（ファンドレイジング）**  
**●20-21 地区寄付分析結果●**

年次基金寄付総額                      \$ 421,446  
 一人当たりの寄付                      \$ 154  
 150ドル（一人当たり）以上        3 3 クラブ  
 150ドル（一人当たり）以下        4 9 クラブ  
 最も多いクラブ（一人当たり）      \$ 362

昨年一人当たりの寄付 150 ドルを達成しました。ありがとうございました。  
 ～以下説明～



**寄付推進（ファンドレイジング）**  
**●2013-21 関東近畿地区年次基金（一人当たり）●**

順位	地区	都道府県名	13-14年度	14-15年度	15-16年度	16-17年度	17-18年度	18-19年度	19-20年度	20-21年度
1	2770埼玉南東		203.9	202.2	205.8	207.6	207.7	205.68	197.34	215.02
2	2750 東京・北マリアナ諸島		169.9	166.4	159.4	171.9	169.7	168	184.34	193.95
3	2590 神奈川横浜川崎		166.4	158.1	160.9	173	169.6	164.77	187.99	184.05
4	2840群馬		165.5	171.6	179.2	169.5	172.3	173.93	173.93	183.15
5	2780神奈川		167	158	161.3	177.7	191.6	179.8	186.14	179.99
6	2580東京・沖縄		135.9	138.1	143.1	170.4	151.5	159.22	169.1	170.92
7	2550栃木		134.5	147.5	141.6	149.1	152.5	144.29	161.18	158.14
8	2820茨城		148.2	152.6	146.8	156.9	157.6	147.59	152.47	157.74
9	2790千葉		98.9	117.9	126.3	125.2	137.1	139.41	133.72	154.21
10	2570埼玉西北		152.9	128.5	138.9	149.1	126.7	143.7	118.13	146.97

2013-21 年度の関東近県の一人当たりの寄付額を時田副委員長にまとめていただきました。  
 ここ 8 年間で初めて 150 ドルを達成したことがわかります。  
 150 ドルを達成しても 10 地区中 9 位、となっています。

**クラブ報告**



ここで、150 ドルを維持すべく上位寄付クラブの成功体験を聞きたいと思います。

1) 寄付推進模範クラブ

千葉ロータリークラブ 佐々木さん(地区幹事長)代わり梶原ガバナー  
 富里ロータリークラブ椎名さん(クラブ会長)

2) 寄付推進模範とグローバル補助金事業の推進

柏西ロータリークラブ 水野さん(クラブ会長)

柏南ロータリークラブ 猫田さん(奉仕プロジェクト統括委員長)

## 総括

総括を時田統括副委員長お願いします。

アーチクラブはこう述べています。

「お金だけでは大したことはできない。個人の奉仕はお金がなければ無力である。

この2つが組み合わせれば、文明への天の恵みになることができる。」

RI2790地区 2021-22年度 ロータリー財団統括委員会  
副委員長 時田 清次



この2つが組み合わさったとき「希望の財団」になると確信しています。

地区補助金の活用

地区補助金プロジェクト委員長 堀内 正人



## 地区補助金について

2021-2022年度 国際ロータリー2790地区  
地区補助金プロジェクト委員会

堀内 正人(木更津東ロータリークラブ)

### 地区補助金(District Grants)について

1. 地区補助金の概要
2. 参加資格と条件
3. 申請までのスケジュール感



## 地区補助金(District Grants)について

### 1. 地区補助金の概要

### 2. 参加資格と条件

### 3. 申請までのスケジュール感



### 1. 地区補助金の概要

#### ① 規模と期間

・補助金を受ける年度内に報告書提出までが完了する  
1回限りの比較的小規模なプロジェクトが対象です

・プロジェクトの実施期間は8月1日～3月31日 となります  
(報告書提出期限は4月30日まで)

・国内でも海外でも実施できます  
※相手国にロータリーが無くても実施できますが、  
規制対象とされている国もあります



### 1. 地区補助金の概要

#### ① 規模と期間

・国内、海外いずれの場合も補助金を使う場合は、  
ロータリー財団の定める

『地区補助金とグローバル補助金 授与と受託の条件』を

遵守することが求められます

※『授与と受託の条件』は2021年7月に改訂されております  
MY ROTARY等でご確認をお願いいたします



### 1. 地区補助金の概要

#### ② 2021-22年度地区補助金の用途

プロジェクトの分野	一般申請 件数	人道的 国際奉仕件数	申請額(円)
地域社会の発展(一般)	3	1	973,800
地域社会の発展(建物の修復)		1	600,000
地域社会の発展(災害復興)	3		652,756
地域社会の発展(ボランティア奉仕)	2		400,000
保健(疾病)	1		244,859
教育(一般)	8		2,097,000
教育(識字率の向上)		2	1,200,000
教育(ボランティア奉仕)	2	2	708,500
教育(奨学生)	2		4,000,000
食糧/農業(ボランティア奉仕)	3	1	722,000
合計	24	7	11,598,915



### 1. 地区補助金の概要

#### ③ 補助金額について

◎2790地区では

・1件あたりの最低額規定はありません

・地区補助金申請には一般事業と人道的国際奉仕事業があり、  
同一年度にどちらか一つの申請ができます

・一般事業の補助金上限額は30万円です  
(クラブ拠出金の同額以下となります P27)



### 1. 地区補助金の概要

#### ③ 補助金額について

◎2790地区では

・人道的国際奉仕事業(2021-22, 2022-23年度に限定)

→『7つの重点分野』に適合したグローバル補助金事業に  
つながる人道的国際奉仕事業に対しては、地区補助金の  
上限額を60万円とします(P27)

※注

事業総額60万円まで:クラブ拠出金の同額以下  
事業総額90万円まで:クラブ拠出金は30万円(固定)、残りは地区補助金  
事業総額90万円以上:地区補助金は60万円(固定)、残りはクラブ拠出金



### 1. 地区補助金の概要

#### ③ 補助金額について

※地区補助金配分の注意点

・地区全体の申請総額がDG枠(予算額)を超えた場合

→ 前年度の一人当たり年次基金寄付の実績額に応じて  
申請額が減額となる場合があります  
(ハンドブックP27)



### 1. 地区補助金の概要

#### ③ 補助金額について

※地区補助金配分の注意点

1人当たりの前年度年次基金寄付額	掛け率
150ドル以上	×1.0 (100% 配分)
149~100ドル	×0.9 (90% 配分)
99ドル以下	×0.8 (80% 配分)

例:30万円を地区補助金として申請前年度寄付実績130ドル)  
→ 300,000円×0.9 = 270,000円 が補助金支給額となる場合も



## 地区補助金(District Grants)について

### 1. 地区補助金の概要

### 2. 参加資格と条件

### 3. 申請までのスケジュール感



## 2. 参加資格と条件

### ④ 参加資格

・地区とクラブ、地区補助金奨学生に参加資格があります

・地区委員会及び、地区委員会が管理・掌握する委員会傘下のロータリアンが構成員であるグループも申請できます

・ロータクトクラブ、インターアクトクラブが単クラブで申請する場合は、提唱クラブの申請となります  
この場合、そのクラブ自体の申請とは別枠で扱われます  
(補助金管理セミナーには提唱クラブの担当者の参加が別途に必要となります)



## 2. 参加資格と条件

### ④ 参加資格

・複数のロータクトクラブ、インターアクトクラブが合同で、または青少年交換、RYLA、米山奨学生、財団奨学生及びそれらの学友会が申請する場合は、管轄する地区委員会が申請者となります

いずれの場合も申請者が参加資格を満たす必要があります



## 2. 参加資格と条件

### ④ 参加資格

地区補助金の申請のための参加資格を得るには、次の条件を満たす必要があります

#### 1. MOUの提出(ハンドブック P70～72 参照)

※MOUには次の方々の署名が必要です

・提出者:申請年度のクラブ会長(当年度会長)

・承認者:プロジェクト実施年度のクラブ会長(次年度会長)

・承認者:プロジェクト実施年度の会長エレクト(次々年度会長)もしくは次年度幹事(会長エレクト未定の場合)



## 2. 参加資格と条件

### ④ 参加資格

#### 2. 地区主催の補助金管理セミナーへ最低1名が出席すること

※次回:2022年1月29日(土) 三井ガーデンホテル千葉

※地区補助金申請書について具体的な説明も行います

#### 3. 『地区補助金財務管理計画規定』を作成すること (ハンドブック P77～78)

以上が参加資格を得るための要件となります



## 2. 参加資格と条件

### ⑤ 条件

地区補助金の対象となる事業 (P25～26)

・『ロータリー財団の使命』に当てはまる活動であること

(※ロータリー財団の使命:ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする)

・ロータリアンが積極的に関与する活動であること  
(単なる物品の寄贈、協賛金の贈呈、コンサートや文化講演会の開催は補助金事業の対象となりません)



## 2. 参加資格と条件

### ⑤ 条件

なお、2022～2023年度はコロナウイルス対策事業への補助金の特例は予定されておりません



## 2. 参加資格と条件

### ⑤ 条件

・事業実施期間:その年度の8月1日から3月31日までです

・継続事業の場合、原則として5年後に再申請が可能です  
(2年連続して申請された場合、減額の対象となります)

・補助金受領後は当年度内にプロジェクトを完了させてください

・事業終了後は1か月以内に地区に報告書を提出してください  
(最終 同4月30日まで)

※前年度の地区からの報告書をTRFが承認済みであることが補助金授与の条件  
(報告書が遅れば遅れるほど当年度の地区への補助金授与も遅延)



## 2. 参加資格と条件

### ⑥ 活動またはプロジェクトのカテゴリー

2021-22年度より「活動の種類」は「活動またはプロジェクトのカテゴリー」として、より細分化されました

- 活動の種類 (従来)
- |   |  |  |
|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> 地域社会の発展 (一般)       | <input type="checkbox"/> 保健 (一般)       | <input type="checkbox"/> 教育 (一般)       |
| <input type="checkbox"/> 地域社会の発展 (建物の修復)    | <input type="checkbox"/> 保健 (疾病)       | <input type="checkbox"/> 教育 (識字率の向上)   |
| <input type="checkbox"/> 地域社会の発展 (災害復興)     | <input type="checkbox"/> 保健 (ボランティア奉仕) | <input type="checkbox"/> 教育 (奨学金)      |
| <input type="checkbox"/> 地域社会の発展 (ボランティア奉仕) | <input type="checkbox"/> 水 (衛生)        | <input type="checkbox"/> 教育 (ボランティア奉仕) |
| <input type="checkbox"/> 食料 / 農業 (一般)       | <input type="checkbox"/> 水 (供給 / 確保)   | <input type="checkbox"/> 管理運営費 (最高級まで) |
| <input type="checkbox"/> 食料 / 農業 (ボランティア奉仕) | <input type="checkbox"/> 水 (ボランティア奉仕)  | <input type="checkbox"/> 臨時費 (最高級まで)   |
| <input type="checkbox"/> ローターの交換活動          |  |  |



## 2. 参加資格と条件

### ⑥ 活動またはプロジェクトのカテゴリー

2021-22年度より「活動の種類」は「活動またはプロジェクトのカテゴリー」として、より細分化されました。

- 活動またはプロジェクトのカテゴリー (改定後)
- 経済発展:  農業/マイクロクレジット  事業開発/就職に役立つスキル・研修  職業研修  
 Covid-19  一般
- 教育:  識字  コンピュータ/デジタルリテラシー/IT  芸術/音楽  
 奨学金 (小・中・高)  奨学金 (学部レベル)  奨学金 (大学院レベル)  
 学用品/学校設備  スポーツ/遊び場  建築/修復  
 特殊教育  Covid-19  一般
- 保健:  歯科  聴覚  疾病予防  健康フェア  視覚  メンタルヘルス  
 医療物資/医療機器  母子の健康  Covid-19  一般



## 2. 参加資格と条件

### ⑥ 活動またはプロジェクトのカテゴリー

- 活動またはプロジェクトのカテゴリー (改定後)
- 平和:  リーダーシップ育成/教育  平和構築/紛争予防と解決  
 危険な状態になる人びとのためのアドボカシー/援助  コンサート/イベント  一般
- 環境:  環境教育  リサイクル/コンポスト/廃棄物管理  環境回復/保全  樹木/植物  
 太陽/風力/再生可能エネルギー  汚染浄化  野生生物  一般
- 保健:  トイレ/衛生設備/衛生習慣  物資/アクセス/ろ過  農業/灌漑  一般
- 地域社会発展:  災害支援/復興  建設/修復  食糧/飢饉  スポーツ/レクリエーション/遊び場  
 美化/公園  輸送  動物福祉  安全対策/緊急時対策
- 地区サポート:  地域社会調査  補助金管理セミナー  グループ交換/職業研修チーム  
 NI youth programs/Youth Exchange, P(LA, Interact)  
 奨学生/職業チームのオリエンテーション



## 2. 参加資格と条件

### ⑥ 活動またはプロジェクトのカテゴリー

2021-22年度より「対象者」も「主な受益者」とされ細分化

- 主な受益者 (改定後)
- |                                  |                                  |                                 |                                       |
|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 子ども/青少年 | <input type="checkbox"/> 障がい者    | <input type="checkbox"/> 地区     | <input type="checkbox"/> 経済的に恵まれていない人 |
| <input type="checkbox"/> 高齢者     | <input type="checkbox"/> 農業従事者   | <input type="checkbox"/> 一般市民   | <input type="checkbox"/> ホームレスの人びと    |
| <input type="checkbox"/> 男性      | <input type="checkbox"/> 孤児      | <input type="checkbox"/> 難民/避難民 | <input type="checkbox"/> 学生           |
| <input type="checkbox"/> 退役軍人    | <input type="checkbox"/> 野生生物/動物 | <input type="checkbox"/> 女性     |                                       |

※これらは2022-23年度用「地区補助金申請書」に反映



### 地区補助金(District Grants)について

1. 地区補助金の概要
2. 参加資格と条件
3. 申請までのスケジュール感



## 3. 申請までのスケジュール感

### ④申請までのスケジュール感

- ・事業実施の前年度中に申請まで終わらせる必要があります
- (2020-21年度の例・・・2021-22年度地区補助金の申請)
- ◎2021年1月30日(土)  
資格取得:MOUの提出&補助金管理セミナーへの出席
  - ◎2021年3月1日(火)~31日(水)  
申請書の作成・提出
  - ◎2021年4月17日(土)  
補助金審査会



## 3. 申請までのスケジュール感

### ④申請までのスケジュール感

実際に次年度(2022年)に入るとあまり時間がありませんので、事業の企画は少しでも早く開始することをお勧めします。

ご不明点がございましたら、地区補助金プロジェクト委員会までお問い合わせください。





グローバル補助金について



2021年9月25日 2790地区 2021-22年度ロータリー財団セミナー  
ロータリー財団統括委員会グローバル補助金プロジェクト委員会資料

補助金の種類

1. 地区補助金
2. **グローバル補助金**
3. ロータリー災害救援補助金  
(2019年～)
4. 大規模プログラム補助金  
(2021年～)

補助金プロジェクト小委員会、委員長の浅野肇です、所属は柏西 RC です

本日は zoom 係も兼ねておりますので、途中でトラブルが発生した場合、対処に回る可能性がありますのであらかじめご了承下さい

グローバル補助金の目的・活動の種類(P30)

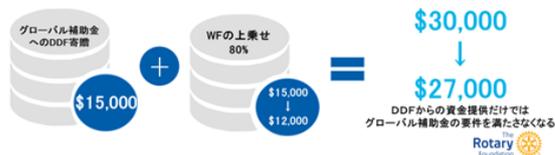
- グローバル補助金は、ロータリーの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援するもの
- 活動の種類（奨学金は別途）
  - 人道的プロジェクト
  - 職業研修チーム(Vocational Training Team)

グローバル補助金の使用条件(P30)

- 援助国と実施国のロータリークラブが協力
- 双方が参加資格の認定を受ける必要がある
  - MOUの同意
  - 補助金管理セミナーへの参加

グローバル補助金の変更点(7/1より)

- グローバル補助金への、DDF寄贈に対するWFからの上乗せ額を100%から**80%**に引き下げ



## グローバル補助金の資料(ロータリーの友)



2020年11月号  
ロータリー財団月間  
グローバル補助金  
を知ろう!



## グローバル補助金申請の手順(P32)

・グローバル補助金は、**年度を通じて**随時申請することができ、申請が受理された順にTRF 審査が行われます。

## グローバル補助金申請の手順(P32)

### ① 調査提案

- ・代表提唱者は現地調査を実施し、実施国・地域代表提唱者と協働して、『地域社会調査の結果フォーム』、事業計画書等を作成する。
- ・クラブは、地区ロータリー財団委員会に地区審査のための書類を提出する。
  - 1) グローバル補助金事業計画書(様式501)
  - 2) DDF使用申請書(様式511)
  - 3) 『地域社会調査の結果フォーム』  
(DDF:地区財団活動資金)



## グローバル補助金申請の手順(P32)

### ③ TRF審査

- ・審査期間は直近の事例で半年程度(ガイドでは2~4週間)
- ・最近の変更点では、申請時に専用の口座情報の提出が必須となった  
(振り込まれる事が前提ではない)



## グローバル補助金実績(財団室ニュース9月号)

- ・2019-20年度のグローバル補助金実績  
1,359件/9,560万ドル
- ・2020-21年度のグローバル補助金実績  
1,749件(昨年からの保留を含む)
- ・コロナへの災害救援補助金 3,200万ドル
- ・日本のグローバル補助金(19-20→20-21)  
77件→83件



## グローバル補助金申請の手順

### ④ TRF現金拠出→補助金の振り込み

- ・TRFの承認が下り次第、拠出金を送金する(財団室ニュース9月号)
  - (A) ロータリー財団を通じて送金
    - ・税制上の優遇措置の対象になる
    - ・個人名義の場合、認証の対象になる
    - ・経費負担分の5%を上乗せする必要がある
  - (B) プロジェクトの口座に入金する
    - ・上記のメリット/デメリットが無い
- ・TRFから補助金の総額が振り込まれる



## グローバル補助金の資料(My Rotary)

- ・ <https://my.rotary.org/ja/take-action/apply-grants/global-grants>  
リソース&参考資料

グローバル補助金ガイド/地域調査の方法/協力団体の覚書/グローバル補助金 小口融資プロジェクトに関する補定書式/グローバル補助金申請のテンプレート/グローバル補助金 計算表/グローバル補助金 地域社会調査の結果フォーム/グローバル補助金 モニタリングと評価の計画/グローバル補助金 小口融資プロジェクト報告書の補定書式/グローバル補助金 奨学金の補定資料/補助金センターのご利用ガイド/補助金による旅行に関する情報/グローバル補助金の流れ/持続可能なプロジェクトの立案6つのステップ/ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受託の条件/グローバル補助金 研修計画/職業研修チームの日程表/職業研修チーム:メンバー申請書



## 最近の2790地区のグローバル補助金

- ①実施中  
柏南RC:カグンドゥイニ診療施設の設備(ケニア)
- ②TRF審査中  
柏西RC:フォートピッチャイダップハック病院への医療機器の提供(タイ)
- ③作成中  
市原中央RC(VTT):ネパールのカリンチョクコミュニティに骨粗鬆症の知識、トレーニング、治療の提供(ネパール)  
茂原RC:屏東(ピンドン)の2つの先住民の山村における持続可能な巡回医療サービス(台湾)

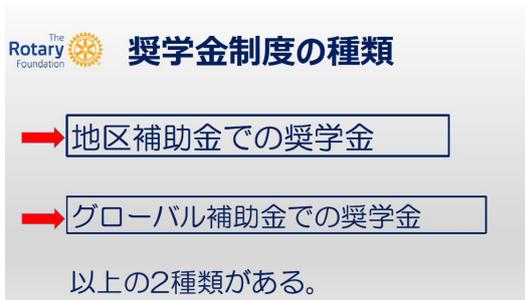


奨学生・学友の流れ

奨学生・学友委員長 折田 紘幸



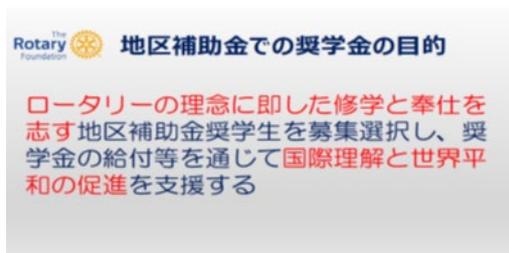
それでは、奨学生・学友委員会の方からロータリー財団奨学金制度についてご説明をさせていただきます。私は委員長を仰せつかっております折田と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。



スライド変わりまして、  
まず、奨学金制度の種類についてご説明させていただきます。  
スライドに表示されておりますように、ロータリー財団の奨学金の種類は2種類ございます。  
一つには、地区補助金での奨学金と、今一つにはグローバル補助金での奨学金の2種類がございます。

「ロータリー財団」と、そして「クラブ」は、大学・大学院レベルの奨学金を通じて、地域や世界で活躍できる未来のリーダーを育てております。

そして、ロータリークラブは、今からご説明いたします、ロータリー財団の地区補助金、またはグローバル補助金を、奨学金に使うことができます。



スライド変わりまして、  
それでは、2種類の奨学金の、それぞれの目的と内容について、ご説明いたします。  
まず、地区補助金による奨学金についてです。スライドにありますように、地区補助金での奨学

金の目的と言いますと

「ロータリーの理念に即した修学と奉仕を志す、地区補助金奨学生を募集選択し、奨学金の給付等を通じて、国際理解と、世界平和の促進を支援する事を目的としております。」

この補助金は、地区の裁量で決めることができます。

The Rotary Foundation **地区補助金での奨学金の内容**

**授与する奨学金の上限額**  
**20,000USD**

**派遣期間**  
当該年度9月1日～翌6月30日まで

**対象者**  
新学期から海外の大学、大学院で就学を開始する方

スライド変わりました、

当地区での地区補助金での奨学金の内容についてご説明いたします。

授与する奨学金の上限額としましては、米ドルで20,000ドルでございます。

当地区での派遣期間は、当該年度9月1日～翌6月30日までとしております。

対象者としてしましては、新学期から、海外の大学、大学院で就学を開始する方を対象としております。

The Rotary Foundation **グローバル補助金での奨学金の目的**

ロータリー財団が定めた7つの重点分野のいずれかに合ったキャリアを目指し、大学院レベルの研究目標もそれに沿ったものであり、海外の大学院で勉強する意欲ある留学生を支援する

- ▶ 世界平和の促進に協力する人を増やす事を目的とします。
- ▶ ロータリー財団奨学金は単なる留学支援ではなく、ロータリーの目的推進に協力してくれるRotary Familyを育てるための資金提供です。
- ▶ よって、奨学生を「派遣する」と言う言葉を使います。

今一つの、グローバル補助金での奨学金の目的についてご説明いたします。

ロータリー財団が定めた7つの重点分野のいずれかに合ったキャリアを目指し、大学院レベルの研究目標もそれに沿ったものであり、海外の大学院で勉強する意欲ある留学生を支援するものでありまして、その究

極の目的は世界平和の促進に協力する人を増やす事を目的としております。

そして、ロータリー財団奨学金は、単なる留学支援ではなく、ロータリーの目的推進に協力してくれる「Rotary Family」を育てるための資金提供です。よって、奨学生を「派遣する」と言う言葉を使います。

また、グローバル補助金での奨学金は、実施側クラブ(海外)と援助側クラブ(当地区側)が協力して行うグローバル補助金事業です。つまり、この2つのクラブが主体となり行う事業です。

それから、今までの6つの重点分野に、2021年の7月から「環境」の分野が、一つ増えましたので、それに伴いまして、奨学生として応募される、応募者のキャリア目標の対象範囲も、必然的に増えることとなります。これにより、応募者の数も増えることを期待したいと思います。

The Rotary Foundation **グローバル補助金での奨学金の内容**

**授与する奨学金の上限額**  
**36,000USD**

DDF (地区財団活動資金) 20,000USD  
WF (国際財団活動資金) 16,000USD

スライド変わりました、

グローバル補助金での奨学金の内容についてご説明いたします。

奨学金の期間は1～4年にわたり、学位取得を含むものもあります。

グローバル補助金による奨学金は、地区財団活動資金(DDF)、および国際財団活動資金(WF)からの上乗せによって資金を調達します。

授与する奨学金の上限額は、米ドルで36,000ドルです。

スライドにも在ります通り、内訳は、DDF(地区財団活動資金)から20,000ドル、そしてWF(国際財団活動資金)から16,000ドルの計36,000ドルという事に成ります。

こちらは、昨年まではDDF20,000ドル・WF20,000ドルの40,000ドルでしたが、2021年7月よりWFの補助金上乗せがDDFの1.0から0.8に引き下げられたため、今年から36,000ドルが奨学金の上限となっております。



続いて、

応募方法についてご説明いたします。

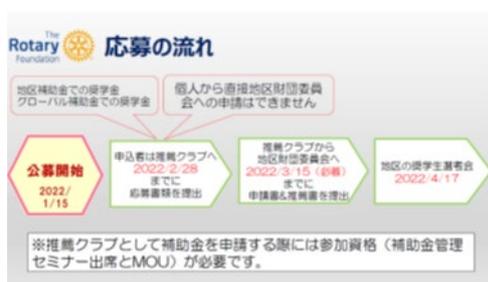
ご覧のような「海外派遣」奨学生募集のポスターを、すでに、県内の指定校であります約50の大学に配布をさせていただいております。

更には、2790地区公式ホームページ並びにFacebook等にも掲載し、幅広く優秀な人材に応募していただくよう、ご案内をさせていただいております。

具体的な、応募要項及び申請書につきましても、2790地区公式ホームページからダウンロードできるようにしてありますので、そちらからお願い致します。

スライドにもございます通り、2022-23年度の募集人数につきましては、グローバル補助金奨学生が3名、地区補助金奨学生が1名の予定です。

それから、クラブへ複数の応募がありましても、クラブから推薦できる奨学生は、地区補助金奨学生か、グローバル補助金奨学生か、どちらか1名のみで複数の推薦は出来ませんので、予めお伝えさせていただきます。



スライド変わります、

続いて、応募の流れについてご説明いたします。

・スライドをご覧いただきたいのですが、左から順に行きますと、公募開始は昨年と同様、2022/1/15からとなっております。

・次に、申込にあたりましては、申込者は、2/28までに、本籍、居住地、職場、大学等のいずれかの所在地に所在するロータリークラブに、推薦クラブとして、応募書類を提出していただくことになります。

応募書類の締め切りは、地区補助金での奨学金、グローバル補助金での奨学金ともに、2/28でございます。

尚、個人から直接、地区財団委員会への申請はできません。あくまでも推薦クラブがロータリー財団へ

の申請者です。

申込者が最寄りのロータリークラブを探す場合は、2790 地区ガバナー事務所ホームページに、クラブ情報が一覧で掲載されておりますので、そこから確認することが出来ます。

・次に、推薦クラブからは、地区財団委員会の方へ 3/15(必着)で、申請書並びに推薦書の提出をお願いします。

・次に、地区財団委員会での奨学生選考会は、4月上旬から中旬を予定しております。

また、推薦クラブとして補助金を申請する際には、参加資格として、補助金管理セミナー出席とMOUが必要で、参加資格がない場合申請できませんのでご注意ください。

尚、直接電話等による、お問い合わせには、お答えしておりませんので、お問い合わせにつきましては、ポスターに掲載されております、ロータリー財団委員会「奨学生担当」のメールアドレスから、お問い合わせいただくようお願いいたします。

The Rotary Foundation 奨学金・応募申請期日の再確認	
地区補助金奨学金・グローバル補助金奨学金	
公募開始	2022年1月15日
推薦クラブへの応募〆切	2022年2月28日
地区への申請〆切	2021年3月15日書類必着
選考試験	2021年4月17日(予定)

スライド変わりました、

ここで皆さんに、ご了承くださいたいのは、現在新しい財団ハンドブックの作成準備を進めておりますが、今回の財団セミナーでは間に合いませんので、ホームページには、現時点で昨年度の漆原年度の財団奨学生募集要項を、参考と表記して、掲載をさせていただいております。

各応募の流れでは、基本的に各段階の締め切り日は、昨年と同様のスケジュールを予定しております。今一度スライドを見ながら、繰り返しますが、公募開始が 2022/1/15 から開始となります。申込者の推薦クラブへの応募締め切りが 2/28、推薦クラブから地区財団委員会への申請締め切りが 3/15 でございます。

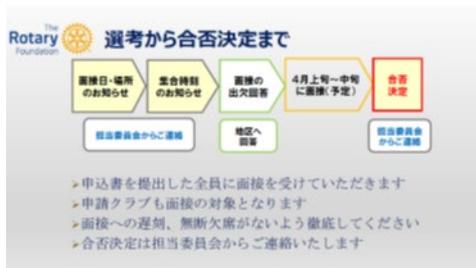
新しいハンドブックは、準備の関係で11月ごろになろうかと思いますが、ハンドブックの募集要項が出来ましたら、出来るだけ早くホームページの掲載を差し替えさせていただきます。

また、ほとんどの、ロータリー財団奨学生の申請に関する疑義(Q&A)は、現在ホームページに掲載してあります、募集要項の中にも、申請に関する疑義(Q&A)がございますので、ご覧いただきたいと思っております。

それから、大事なことですが、この補助金での奨学金の事業は、推薦クラブが申請する財団補助金事業であり、地区ロータリー財団委員会の事業ではありませんことをご承知おきください。

あくまでも主体は、推薦クラブという事に成ります。

なお、一つの事例として、推薦クラブではなく、留学生本人名義の銀行口座を、奨学金の受取口座として指定してしまった事例がございました。あくまでも推薦クラブが申請する事業になりますので、推薦クラブ名義の銀行口座を受け取り口座としなければなりませんので、その点ご注意ください。



スライド変わりまして、

選考から合否決定についてご説明させていただきます。

・スライドをご覧いただきたいのですが、左から順に行きますと、選考会の面接日、場所、集合時刻等につきましては、担当委員会の方から推薦クラブの方へメール送信でお知

らせします。

昨年度から申請クラブも面接の対象となりました。こちらも評価点になりますのでご承知おきください。

・それから、面接に遅刻や無断欠席がないよう徹底するようにはしていただきたいと思います。面接を欠席した場合は、そこで不合格となってしまいます。

原則として、欠席による面接日の振替はありませんのでご注意ください。

・それから、書類と面接を合わせて合否を判断しますので、応募者全員に面接を受けていただきます。したがって、書類選考のみで選考結果が連絡されることはございません！

・それから、合否の判定結果は、面接終了後、財団委員会の中で厳正な審査をして、面接終了後1週間以内を目安に、担当委員会の方からご連絡させていただきます。

但し、ここで言う合格は、派遣奨学生候補としての合格という事に成りまして、「出席義務になっている、出発前オリエンテーションに出席し、手続きをすべて完了した段階で、晴れて正規の奨学生となります。」せっかく派遣奨学生候補になりましても、出発前オリエンテーションに欠席しますと失格となる場合がありますので、ご注意ください。

スライド変わりまして、

応募者ご推薦のミスマッチを防ぐために、各クラブご担当者様へお願いをさせていただきます。

応募手順として、応募者から直接クラブに応募書類が提出されることに成ります。

クラブ内での一般的な手続きの流れとしまして、奨学金希望者より応募書類を受領後、本人と面接➡クラブ

内での選考➡理事会での承認➡最後に地区財団委員会への申請となると思います。

そこで、推薦する奨学金希望者のミスマッチを防ぐためにも、応募書類のチェックと併せまして、応募者本人と面接される際に、応募要項の条件を満たしているのか、また、「地区補助金およびグローバル補助金の授与と受諾の条件」のところを良く読んでいただき、そこに記載された全方針が順守できるかの、確認をお願いしたいと思います。

また、地区財団委員会は、申請書の奨学金の受領資格を確認した上で、応募者の面接を行い、合否を判断しますので、応募者にスライドに掲載してあるような資質があるかどうかを、推薦クラブ内の面接で

事前に良くご確認下さい。

 **出発前オリエンテーションの実施**

- 派遣奨学生候補・推薦クラブ（カウンセラー）オリエンテーションを5月～8月にかけて数回行う予定です。
- ロータリー財団奨学生は留学前にオリエンテーションを受けることが義務付けられています。
- 欠席の場合失格となる場合があります。

スライド変わりました、

出発前オリエンテーションの実施についてですが、

派遣奨学生候補・推薦クラブ（カウンセラー）オリエンテーションを5月～8月にかけて数回行う予定です。ロータリー財団奨学生は、留学前にオリエンテーションを受けることが義務付けられています。

先にもお話いただきましたが、欠席の場合失格となる

場合がありますのでご注意くださいと思います。

 **ぜひ参加してみませんか？**

**ロータリー財団学友**

ロータリーは、現在もまだ続けているコースに私を乗せてくれました。もし私が国際親善奨学生としてアメリカの大学に行かなかったならば、国際理解の研究に従事しようとは思わなかったでしょう。

 **緒方貞子（2019年逝去）**

元国連難民高等弁務官  
ロータリー財団奨学生  
（1951～52）2期生  
日本女性ではじめての奨学生

スライド変わりました、

これで最後に成りますが、スライドに映っていますのは、皆さん良くご存知の、元国連難民高等弁務官として活躍されました、今は亡きロータリー財団学友の緒方貞子さんです。

代表的な財団学友としてご紹介させていただきました

が、緒方さんの並外れた交渉力や、紛争の敵対勢力と向き合う能力は、国連職員や各国首脳から尊敬され、「身長5フィート（約150センチ）の巨人」と称賛されたそうです。

また、スライドには記載しておりませんが、この他にも、例えば元宇宙飛行士の山崎直子さんも当2790地区の財団学友になります。

もし、皆様のクラブに奨学金の申し込みが来ましたら、将来、緒方さんや山崎さんのような方になられるかも知れません。ぜひ、ロータリー財団奨学金という、夢のある事業に参加をしてみませんか？

以上で、奨学生・学友小委員会からのご説明を終わらせていただきます。

**ポリオのない世界に向けて**

**ロータリーポリオプラス委員長 松永 達人**



# ポリオのない世界に向けて

ロータリーポリオプラス委員長  
松永達人

## ロータリーにとってポリオとは？

ロータリー財団管理委員会とR1理事会は「ポリオのない世界」と認定されるまで国際ロータリーおよびロータリー財団にとってポリオ根絶は最も重要な目標であり、そうあり続けなければならない（ロータリー財団専典12.010。）

ポリオプラスプログラムが成功裏に完了するまで、いかなる他のプロジェクトも検討されない（2017年1月理事会会合、決定87号）

**ロータリーにとって最重要奉仕プログラムです**

## ロータリーにとっての追い風

ビル&メリンダ・ゲイツ財団は  
2013年のロータリー国際大会で  
2018年までの5年間  
ロータリーのポリオ寄付の**2倍**の額を上乗せ  
2017年の世界大会でも  
3年間**2倍**の額を上乗せすると発表  
2020年から3年間継続を発表  
これにより3年間で最大**4億5000万ドル（495億円）**の資金をポリオ根絶活動に提供することが可能



## ポリオ VS ロータリー

**国際ロータリーは1985年以来、根絶のために約15億ドル（1650億円）を寄付 25億人以上の子供に予防接種**

**現在、発症率99.9%減少 根絶まであと少しだが今まで以上の会員の認知、寄付活動が必要**

## ロータリークラブ単位での基礎知識

年間一人当たり30ドルの寄付を推進  
ロータリーカードの作成の推進

↓

これらの達成の為に  
会員へのポリオ根絶の理解周知が必要

## 私自身入会してからのポリオとの出会い

現在入会して7年  
5年経つまでポリオという言葉が知らなかった  
クラブ内で聞くことすらできなかったポリオという言葉  
会長エレクトになってから考え出した  
国際ロータリーの共通奉仕とは？



## ポリオ根絶プログラムという国際的人道支援

ポリオをなくそう

## ポリオ根絶活動が盛んな地域

フィリピン  
アンティポロ市へ

**10月24日  
世界ポリオデーイベント**



## ポリオパレード



## お祭り状態（笑）



## たくさんのロータリアンが参加



## 3800地区ガバナーネルソン氏

ポリオ根絶プログラムについての取り組みを  
教えていただきました



## 自分のクラブでも認知が必要

### ポリオ委員会の新設

世界ポリオデーに  
ポリオ根絶チャリ  
ティコンへの開催



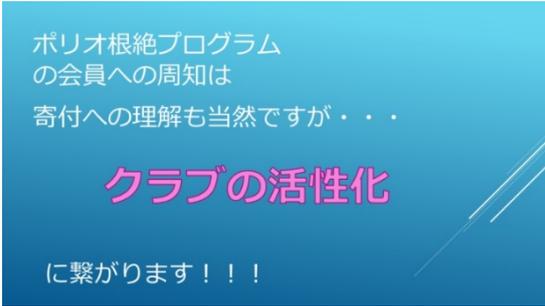
## みんなで参加するために



中には着れないという人や。。。

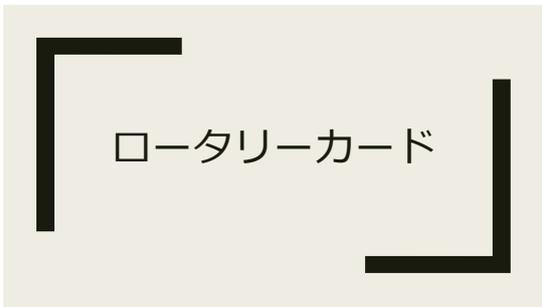


ポリオTシャツなんか着たくない  
という人も



ロータリーカードについて

副委員長 時田 清次



ロータリーカードの説明について補足させていただきます。

ロータリーカードの説明はハンドブック P14から15に記載されています。

ロータリーカードはオリコカードとダイナースカードの2種類が発行されています。

ビジネスカードは利用金額の0.5%、その他は0.

3%がポリオ根絶の資金に充てられます。



世界平和と開発の担い手になる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。

具体的には、世界の各地域の大学と連携し、大学内に研修施設「ロータリー平和センター」を設置し、平和構築に必要とされる専門知識とスキルを養う研究・講義・実施研修が行われます。日本国においては、国際基督教大学（ICU）に設置されました。そしてロータリー平和センターで学ぶ方々を「ロータリー平和フェロー」と呼びます。

毎年、ロータリー平和センター提携大学で学ぶ最高130名のフェローが世界中から選ばれ、ロータリーからフェローシップ（全額支給の奨学金）が授与されます。

フェローシップは授業料、入学金全額、滞在費（宿舎、食事）、往復航空券、インターンシップと実地研修費用が含まれます。

2002年に創立されて以来、ロータリー平和センターは1400人以上のフェローを輩出してきました。これらのフェローは現在115か国以上で活躍し、政府、NGO、軍＜教育、法執行機関のほか、国連や世界銀行といった国際機関でリーダーシップを発揮しています。

2790地区はこのプログラムに毎年25000ドルをDDF（地区財団活動資金）から寄贈しRIより「平和推進地区」に指定されています。

毎年日本全国のロータリアン一人一人から寄付される15円から、フェローの支援や被爆国ならではのプログラムである広島研修旅行などに充てられています。

毎年6月、国際基督教大学で開かれる年次セミナーではロータリー平和センタープログラムを終了するフェローの研究発表会が行われます。